

新潟地区鉄骨ファブ

14年の回顧と来期の課題

新潟地区の鉄骨アーブは旺盛な首都圏再開発案件を背景に高い山積み受注残を抱える。それらの需要や補助金、優遇制度を活用した老朽化設備投資の更新や人材確保に動きが見られる一方で、まだまだ加工単価のは正は道半ばという。14年を振り返り来期に向けた課題を探る。

(杉原
英文)

今年春、全構協、鉄建協共同で作成した業界P.R.のDVDは反響が大きく、両団体では引き続き若手社員教育向けDVD作成に着手している。「将来的に業界外の一般の方にも鉄骨業界の実態を知つてもらおう」という機運が出てきている」と鉄建協幹部は語る。同氏は先日、工業高専から講演を依頼された。就職担当の教諭にて、前述のDVDを視聴してもらったところ「子供たちに今まで経験したことなどを話してもらえないと何が何でもうか」と要請を受けた。

加工単価是正は道半ば

首都圏需要旺盛 次世代育成の好機

界PRのDVDは反響が大きく、両団体では引き続き若手社員教育向けDVD作成に着手している。「将来的に業界外の一般の方にも鐵骨業界の実態を知つてもらおう」という機運で、「それでもう」という機運がないか」と要請を受けた。就職担当の教諭に校から講演を依頼され、前述のDVDを視聴してもらつたところ、「子供たちに今まで経験したことなどを話してもうえ

**地方と中央の
“格差”拡大**

いる。「同様とまでい
かずとも、少なくとも 気が必要。人が集
安値受注を断

業界意識の変化

野に入るだろ？ 鋼管は工場加工が中心で自

こ10年来見 今のは価格差の半分程度 ような業界に、若年労 中央の大手ゼネコン 動化も進み、人材確保
ても比較的 までは回復するように 働者の定着のために は今まで過当な受注競 にいま手を打てばまだ
良かった」 していかなければだめ は、福利厚生も、設備 争を行つた結果、傘下 間に合つ気がする」
と語る。特 だ。適正な経営を考え 更新もしなければなら の専門工事業者が疲 「今年度の収益が改
に首都圏の たら一層努力が必要 ない。収益は社会貢献、弊。いざ仕事が発注さ 善し、「ファブが具体的
受注がメー だ」と強調する。 株主、社員、次の世代 れても労務不足で仕事 に対策を打てるのは来
ンでやつて にも投資しなければ。 が進まないというのが 年だろう。目標は五輪

次世代育成 最後のチャンス

よつた業界に、若年労働者の定着のために、は、福利厚生も、設備更新もしなければならぬ。収益は社会貢献、株主、社員、次の世代にも投資しなければ。人材育成、社員教育へに環境が悪く全く対応の投資は今まであまりに向け真剣に業者のパートナーネット構築をする盤口は経営本質を取中央の大手ゼネコン動化も進み、人材確保は今まで過当な受注競争を行つた結果、傘下間に合う気がする」の専門工事業者が疲弊。いざ仕事が発注されても労務不足で仕事が進まないというのが実態だ。今、大手ゼネコンは協力業者の育成業のハード、ソフトとも厳しい時代に耐えうる。」「今年度の収益が改善し、ファブが具体的に対策を打てるのは来年だろう。目線は五輪以降に向いている。企

「あるセネコン担当」

業界環境が好転した今

界PRのDVDは反響が大きく、両団体では校から講演を依頼され引き続き若手社員教育を行っている。「将来的に業界外の一般の方にも供たちに今まで経験している。」

同氏は先日、工業高まるよう、一般の生徒が、地方と中央の格差にも分かるような機会が今年は大きく広がつとなるならば」と快諾した。

た気とする。県内ファーブの受注単価(材工)にも首都圏と地方の相場の格差が相当表れて

る。いる一番の要因は、できない時間が長く続いた。その影響が今まで少ないため。依然としてゼネコンの価格競争のありを受けていき出でている。適正単価の受注で再投資しなければ。これが最後のチャンスだと思う」

者によると対策を打つ
ても将来的に躯体業者
が急増することはなく」。次世代へのバト
リ。現状をどう維持し
て行くかが重要。RC 転換期に差し掛かって
造からS造へ転換も視
いる。

「格差」抛ナ
いわ。 「同様とまでい
ておねがう」という機運
ないか」と要請を受け
て、今年を振り返り「こ
かずとも、少なくとも

「安値受注を断る勇気が必要。人が集まる業界意識の変化

野に入るだろう。鉄骨
は工場加工が中心で自